

令和6年度 公立香住病院 活動報告

令和6年7月1日

○医療圏について

香美町北部の香住区に位置し、但馬医療圏に含まれる。豊岡病院とのつながりが深いが、地理的に鳥取県立中央病院や鳥取赤十字病院とも紹介、逆紹介がある。

○街の特徴について

山陰有数の漁港である香住港をもち、香住ガニ等の水産品が有名で水産業を営む住民が多い。鳥取県に近いことから梨農家の方もおられる。高齢化率41%と高齢化は顕著である。

○香住病院について

・病床数：50床（一般38床、地域包括ケア12床）

・院内常勤医師数：8名（総合診療科2名、胃腸科2名、耳鼻咽喉科、整形外科、泌尿器科、小児科、各1名）

・養成医派遣数：前期派遣1名、後期派遣1名

・養成医派遣診療科：総合診療科

○養成医派遣各科診療の特徴

当院が位置する香美町香住区には診療所少ないため、当院かかりつけの患者さんが多く一次予防に取り組む必要がある。入院中の患者さんは退院後にも診療を継続するため、お看取りの機会も多くより良い最期について考えさせられる。

維持透析、内視鏡施設も整っており幅広い診療を行っている。

主な業務：病棟診療、外来診療 週2～3回、1～1.5次救急対応、透析回診、院内の介護老人保健施設の有事対応等

○地域医療活動・病院外活動等の特徴・実績

訪問診療、研修医の地域研修、特別養護老人ホームの回診、学校医

○病院の推しをひとつ

内科、外科問わず様々な疾患を診れる。海が近く夕日が綺麗。